



「鶏口午後」

もっと楽しんでいただくための手引き

Copy : Keisuke Yanaka Design : Takaya Sato



本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

JACROW もわれわれも年を重ねるにつれ、世の中や社会の動きをよりビビッドに、身近に考えるようになってまいりました。今回もまた、社会における重要なテーマに沿ったお芝居となっております。

さて今回のお芝居、テーマはこちら！

働き方

と

環境問題

何を目的に働いているのか、好きなことを仕事にすることが正解なのか。働き方に多様性があるようにみえて、意外と選択肢がない社会や職場の空気。そんな閉塞感にもがきながら、こだわりを持って働き続けることの難しさ……。そしてそんな働き方に加え、アパレル業界を舞台に、環境問題にも触れています。リサイクル素材にかかるコストや利益率。それを用いて商品を生産する企画者の想いは、商売に直結し生活者に伝わるのか。本作を通じて、何かしらの「想い」をお持ち帰りいただければ幸いです。

keyword

「鶏口午後」とは ...

タイトルに使用されているこの言葉は、本作のストーリーを構成する基盤的要素になっています。「けいこうぎゅうご」と読むんですが、ご存知でしょうか？

そもそも中国の「史記」蘇秦伝（そしんでん）の中にある言葉で、「むしろ鶏口となるも、牛後となるなかれ」という故事成語です。中国の春秋戦国時代に、かつて秦を滅ぼすために他の6カ国が同盟を組み、合従軍を結成する際にその内の韓の王様に蘇秦が上奏した言葉、と言われております……。うむむ?? はい、よくわかりませ

んよね。笑

現代に合わせて解説すると、「(牛のしっぽになぞらえ) 大きな集団の末端にいるよりも、(頭の小さな鶏の頭になぞらえ) 小さくても自分で何かを起こすことを考えなさい」。言い換えれば、大企業の中で歯車のひとつとして使われるよりも、小さなベンチャーでもトップとして独立することを望め、てな感じでしょうか。

今回のお芝居では、この「鶏口午後」の言葉を2つに分けて、「鶏口編」「午後編」といったカたちでお話が進んでいきます。



ふん！歯車にだって意地とやり甲斐はあるんやて



あるじあるじ、オレあるじ！
小さくてもトップだぜい

keyword

サステイナブル

ここ最近、SDGs もそうですが、メディアを通して皆さんのお耳にも入ってきているのではないのでしょうか？「サステナブル」「サステイナブル」と言われたりもしますが、発信元によって言い方が違うだけで……。一緒です（ややこしいですねえ〜）。ちなみにSDGsは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、SはサステイナブルのSです。一般的には「持続可能な社会」として、環境に配慮した社会インフラづくり、商品開発等に使用されています。今まさにブームです!!

この「サステイナブル」という言葉は、環境におけるものだけでなく、生きとし生けるもの全ての未来を考える上で重要なキーワード

になりました。そもそもは高度経済成長がピークを過ぎたあたり、1987年に国連において発信されたのが始まり、とされています。

我々の生活は確かに豊かになりました。しかしその裏で「森林&海洋資源」の喪失、「石油や鉱物資源」の採掘、それらの消費によって生じた環境汚染など、地球を犠牲にしてきました。人間のテリトリーがどんどん増え、開発によって生じた環境の変化が遠因による公害が各地で発生。動植物の乱獲による絶滅など、様々な環境問題が提起されています。その解決方法は模索され続けてはいたのですが……、そこから35年経った今も歯止めがかかっていないのが現状です。

国や地方自治体、われわれ一般市民、社会全体、そしてそれらに内包されている企業も一緒にその目標に向かって考え、実現させ、明るい未来への道を作ろう！
そのキーワード、それこそが「サステナブル」なのです。

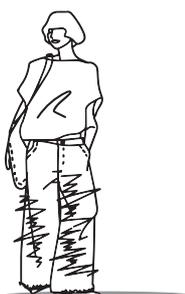


今回のお芝居はアパレル業界を舞台にしております。

アパレル業界のトレンドの一つであったファストファッション、これにおいても環境問題、労働問題が頻発し、今その見直しを求める声が上がっています。

働くことと生きること、そして未来につなぐこと。自分の話ではないかもしれませんが、自分に置き換えられる話かもしれません。

いろんな人や物事、知ってもらえるだけでも幸いです。



word

今回のお芝居の中で出てくるワード、捕捉しておきますね

チエキラ!

SS、AW

業界で季節を表しています。SSは「スプリング・サマー」、つまり春夏物を。AWは「オータム・ウィンター」、秋冬物を指します。

ファストファッション

このお話では、その時代の流行を取り入れ、短期サイクルで低価格販売・大量生産されている衣料品を指します。

バブル

一般的にはジャパン アズ NO.1 と言われた、1980年代後半に起こったバブル経済のことを指します。現代の不景気との比較の言葉で使われますが、世代によっては知られてないかもしれないですね。土地や株の売り買いが派手に行われたことによって、時の実体経済・景気とかけ離れる勢いで、物価・地価ともに泡のように高騰。それにつられて給料も上がり、派手に遊べた、ある種ハッピーだった時代です……羨ましい。実は今も、オリンピック前から地価の高騰は進んでいます。オリンピック後には下がると予想されていましたが、変わらない高騰具合に「バブルの再来か」と言う人もいます。そして、例の戦争の影響から物価が上昇、インフレ傾向の気配も感じます。

ハイクラスライン

簡単にいえば高級路線ですね。高級ブランドがより手軽に自社製品を購入してもらうために、低価格路線であるセカンドラインを展開していますが、本作の山東商会はその逆。高級路線を展開していきます。

パッキン

各業種によって異なりますが、アパレル業界では、梱包用のダンボールを呼称する際によく使われます。